

事業所職員向け 令和5年度 児童発達支援事業 自己評価表（中野区療育センターゆめなりあ）

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	88%	12%	・クラス療育部屋だけではなく個別療育の部屋も調整して活用しています。 ・広場利用は、各クラスや個別療育と調整して、なるべく多くのこどもたちが利用できるようにしています。	・活動内容に合わせて、テラスを有効に活用します。 ・近隣の公園や図書館などの社会資源も積極的に活用していきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	79%	21%	・国基準に東京都の加算を入れると定員１０名のクラスに職員数は2人となっていますが、ゆめなりあのクラスは4～5名配置しています。 ・クラスの常勤職員は、月に１回事務日を設けています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	94%	6%	・お子さんの状況に合わせて棚やパーテーションを移動させ、こどもたちが集中できる環境や個別スペースを確保しています。	・個々に合わせたスケジュールを提供し、分かって安心できる環境を提供します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	88%	12%	・毎日の掃除は、業者に委託し実施しています。	・各部屋の担当を決め、毎日定刻に部屋の確認を実施し、常に清潔な空間を心がけます。 ・療育中にトイレが汚れた際は、職員間で声を掛け合い、療育スタッフが動けない場合は事務職員や医務が掃除する等の体制を整えます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	76%	24%	・リスクが起きた場合、毎日の振り返りで報告するだけではなく、検討しています。 ・各部門の担当が参加する運営会議を月１回開催し、様々な職員の声を吸い上げ、検討しています。	・今後も運営会議を開催し、検討していきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	78%	22%	・保護者会（勉強会後）にアンケートにご協力頂き、参考にさせて頂いています。	・今後もご意見をいただきながら、サービスの質の向上に努めます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	84%	16%	・自己評価や保護者アンケートの結果をもとに解決策を検討しています。その内容については、毎年２月に法人のホームページで公表しています。	・今後もご意見をいただきながら、サービスの質の向上に努めます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	94%	6%	・３年に１回第三者評価を実施しています。 ・定期的にクラス、各専門職、管理職にスーパーバイズやオンブズマン活動の導入をしています。	・令和５年に受審しました。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	97%	3%	・法人内研修、児童分野研修、事業所内研修、クラス内研修、専門職内研修等、事業所内事例検討会などを定期的に研修を実施しています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	94%	6%	・クラス間だけではなく、専門職の意見も参考に作成しています。	・今後もクラス療育、個別療育を通してアセスメントし、情報共有して、こども・保護者のニーズに沿った個別支援計画を作成していきます。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	91%	9%	・療育相談時、就学相談時にこどもに合わせ発達検査または知能検査を実施しています。	・法人内の児童発達支援事業所共通のアセスメントシートを作成しました。令和６年度より、その共通したアセスメントシートを使用します。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	94%	6%	・「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」に対応した10項目から、子どもの発達と保護者の希望に応じた項目を選択し、ねらいと支援内容を設定しています。	・令和６年度から保護者の支援フォームも活用し、支援計画を作成します。

事業所職員向け 令和5年度 児童発達支援事業 自己評価表（中野区療育センターゆめなりあ）

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	97%	3%	・日々の支援記録の用紙に支援計画を記載し、支援計画を常に意識して支援しています。 ・支援の振り返りを毎日実施し、支援内容だけでなく次の支援内容も検討しています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	97%	3%	・支援の振り返りは、非常勤職員も全員参加できるように時間帯を工夫しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	94%	6%	・こどもたちの発達状況やねらいに合わせて、同じ活動を繰り返し提供する事もありますが、療育後こどもの様子を振り返り、次の活動をどのように展開すると良いかも検討しています。 ・法人内の児童発達支援事業所と定期的に連携会議を実施し、活動内容のバリエーションを増やしています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	97%	3%	・集団活動の中でも、個々の支援を大切に、同じ活動の中でもねらいをそれぞれ立てて取り組んでいます。 ・クラス療育利用のお子さんも月1回個別療育を実施しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	97%	3%	・全体ミーティングの後にそれぞれのクラスでの打ち合わせ、活動グループごとの打ち合わせを実施しています。その中で活動内容や、ねらい、職員の動き、注意事項を共有しています。	・活動内容だけではなく、一人ひとりのねらいを共有し合い、全職員がねらいを持って支援していきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	94%	6%	・非常勤職員も全員参加できるように時間帯を工夫して実施しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	88%	12%	・日々の支援記録の用紙に支援計画のキーワードを記載し、支援計画を常に意識して支援しています。	・ICT機器の活用や、記録ソフトの導入などより効率よく実施していける仕組みを検討していきます。
関係機関や保護者との連携	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	91%	9%	・半期ごとにモニタリングと支援計画の作成を実施しています。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	87%	13%	・利用児の担当職員、管理者などが参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	87%	13%	・必要に応じて、すこやか福祉センターや中野区児童相談所と情報共有しています。	
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	93%	7%	・嘱託医参加の元、毎月一回医療的ケア会議を開催し、情報共有と支援方法を決定しています。 ・計画相談支援員を中心に他の事業所での支援内容を共有しています。	
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	82%	18%	・主治医より医療的ケアの指示書を頂き、情報共有しています。	

事業所職員向け 令和5年度 児童発達支援事業 自己評価表（中野区療育センターゆめなりあ）

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	・保護者の希望があった際に、就園シートを作成しています。 ・利用児の多い区立幼稚園へは、年2回担任と児童発達支援管理責任者が幼稚園へ行き、情報共有しています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	87%	13%	・特別支援学校入学後、学校へ訪問し、担任と直接情報共有しています。 ・保護者の希望があった際に、就学シートを作成しています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	77%	23%	・法人内の児童発達支援事業所で連携し、集合研修、職種別専門部会、連絡会議等を開催し、学習する機会を設けています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	40%	60%	・近隣の保育園に年度初めにご挨拶へ行き、毎年プールをお借りしています。 ・近隣の保育園から行事へのお誘いがあった際は、参加させていただいています。	
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	68%	32%	・中野区自立支援協議会へは正夢の会から弥生福祉作業所施設長が参加しています。	・今後中野区にも児童発達支援を対象とした分科会、連絡会が設けられることが望まれる。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	88%	12%	・サービス提供記録や毎月実施している親子参加週間で保護者が来園した時に、情報共有しています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	65%	35%	・年3回の保護者会の中で、学習会を開催しています。担任も参加し、同じ内容を学ぶ機会を通して、支援の連携もねらいとしています。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	97%	3%	・事業所の情報、利用料金等は利用契約時に説明しています。 ・運営規定は玄関に設置しています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	97%	3%	・面談前に個別支援計画（案）をお渡しし、ご家族で話し合っていたいたうえで、面談の中で丁寧に希望を聞き取り完成させています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	91%	9%	・年2回の面談だけではなく、希望面談のご案内をしています。またその都度気になることがあった際は、電話での相談やご自宅への訪問もしています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	69%	31%	・年3回の保護者会を開催し、その中でクラスごとの懇談会を実施しています。	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	94%	6%	・苦情相談窓口、苦情解決責任者、オンブズマン、外部相談先など契約時に利用のしおりなどでお知らせしています。 ・相談や申し入れがあった際は、管理職で検討し、迅速かつ適切に対応することを心がけています。	
保護者への説明責任等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	・年度初めに年間行事予定を配布しています。 ・月1回クラスのゆめなりあ便り、定期的に個別療育のゆめなりあ便り、年4回法人の会報を発行しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	97%	3%	・法人の個人情報保護規定を定めています。また今年度職員への個人情報保護の誓約書の書式を改定し、改めて確認、署名を行っています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	94%	6%	・こどもには、理解できる方法（言葉、文字、絵・写真カード、サイン、現物など）でやりとりすることを大切にしています。 ・保護者の方には、個別にメモを付ける、必要箇所にマーカーを引く、英語やローマ字対応するなどしています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	69%	31%	・南中野区民祭りに作品展示として参加しています。 ・地域啓発事業として発達障害の理解などの勉強会を行っています。 ・実習生や中学生のお仕事体験を受け入れています。	・今後地域の方へより子どもたちの作品や、私たちの支援について知って頂く機会を増やしたいと思います。

事業所職員向け 令和5年度 児童発達支援事業 自己評価表(中野区療育センターゆめなりあ)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	94%	6%	・各マニュアルなどの作成、見直し時期などを設定しました。 ・各種マニュアルは事務所にて共有できるように保管しています。今後定期的な見直しの元で運用を進めていきます。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	・毎月1回の避難訓練及び年1回の引き取り訓練を実施しています。今後も内容を見直しながら継続していきます。	・今年度は避難訓練の他にAEDの使用について消防士の方からの指導や、不審者対応について警察官の方に来ていただいて訓練を受けました。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	97%	3%	・入園児と年度初めに健康状況調査票をご提出頂いています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	97%	3%	・入園時または発症時に、アレルギー除去に関する診断書をご提出いただき、適切に対応しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	85%	15%	・日々の振り返りの中でインシデント・アクシデントレポートを作成しています。法人の書式にてレベル、内容を記録し毎日療育後のクラス全体振り返りで情報共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	94%	6%	・法人として年に2回の虐待防止の研修を行っています。また事業所としても2カ月に1回程度の虐待防止・権利擁護の為の研修を行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	91%	9%	・利用契約時に契約書に沿って説明を行っています。 ・身体拘束のガイドライン、記録書式を定めています。	